

議会だより

平成27年10月29日発行 発行責任者:壱岐市議会議長 編集:議会広報特別委員会

【主な内容】

新体制になりました	2
壱岐市子ども議会開催	4
7～9月会議で決めたこと	6
平成27年度 補正予算	6
どえ～な予算のあと	7
委員会レポート	8
議案と審議結果一覧表	11
一般質問（6人が登壇）	12
市民の声	15
議会だよりクイズ	16



新体制になりました

議長就任挨拶



吉岐市議会議長

鵜瀬 和博

市民の皆さまには、平素から市議会に対し、深いご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

8月11日に開かれた本会議において、議員各位のご推挙を賜り、第6代議長の要職に就任することになりました。誠に身に余る光栄でありますとともに、その責務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いです。

近年、地方自治体を取り巻く環境は、社会経済情勢の変化や地方分権の進展等により大きく変化し、市が自らの判断と責任により、地域の実情に沿った市政運営を行うことが必要となる中、本市においても、地方創生を旗印に活力を取り戻し、第1次産業の振興、人口減少、雇用、運賃対策など様々な課題を克服するような施策を展開することが求められております。

私たち議会といたしましても二元代表制

の役割を担い、市の意思決定を行う議会の役割もますます重要になっており、執行機関とは異なる視点で市民の多様なニーズを把握し、評価チェック機能や政策提言機能を充実させていくことが、一層強く求められております。

執行機関を監視しつつも、協力すべきは協力し、是々非々の立場で市政発展のため、ものいう議会として最善を尽くす決意であります。また、現在、谷川弥一代議士を中心に金子原二郎参議院議員はじめ関係者皆さんが日夜を問わず、県下離島3市2町の悲願でもあります国境離島新法制定に向け、努力されている取組に対し、全力を挙げて後押しすることが本市議会の第一使命でもあります。

併せて、これまで歴代の議長が築いてこられた実績、伝統をけがす事のないよう、公正かつ円滑な議会運営と議会改革を更に推し進め、市民に開かれ、わかりやすい議会として、さらなる情報発信に努めてまいります。

市民の皆様のご信頼とご期待に応えられる議会運営を目指し、万全を期して参りますので、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

副議長就任挨拶



吉岐市議会副議長

深見 義輝

この度の、議員諸氏のご賛同を頂き副議長に就任いたしました。

今、新たにその重責を痛感しているところであります。

国は、徐々にではあるが景気は伸びていると言いますがまだまだであり、状況としてはマイナス指向にあるのではと感じております。

今後の、将来を見つめた時、少子高齢化社会のなかで、議会としても様々な諸課題に向けて、行政に対し政策提言を行うことで、市民の負託に答えて行く事が地方議会に求められると考えられます。

私、微力ではございますが、議長を補佐し、更に市民に信頼される議会運営に努めてまいりますので、市民皆様のご理解を頂きご挨拶と致します。



●総務文教厚生常任委員会

委員長 市山 和幸 副委員長 今西 菊乃
 委員 赤木 貴尚 土谷 勇二
 小金丸益明 町田 正一
 市山 繁



●産業建設常任委員会

委員長 久間 進 副委員長 音嶋 正吾
 委員 呼子 好 深見 義輝
 田原 輝男 豊坂 敏文
 中田 恭一 牧永 護



●議会運営委員会

委員長 小金丸益明 副委員長 町田 正一
 委員 市山 和幸 豊坂 敏文
 中田 恭一 久間 進



●議会広報特別委員会

委員長 赤木 貴尚 副委員長 呼子 好
 委員 土谷 勇二 市山 和幸
 田原 輝男 久間 進



●国境離島活性化推進特別委員会

委員長 今西 菊乃 副委員長 豊坂 敏文
 委員 町田 正一 田原 輝男
 市山 繁 牧永 護



●ICT 推進特別委員会

委員長 中田 恭一 副委員長 赤木 貴尚
 委員 土谷 勇二 呼子 好
 音嶋 正吾 今西 菊乃

吉岐市 子ども議会開催

去る8月26日平成27年吉岐市子ども議会が開かれ4中学校より15名の子ども議員がいま直面している課題を質問、提言を行い、答弁を受けました。

石田 中学校

板川 真大 藤本 真希 上川 歩華 松嶋 真次

質問： ICT 教育の活用計画は取り組みは

答弁： H26からは、県内小中学校モデル校で、ICT 機器を活用した実践研究が行われており、今年度2学期より、4中学校に電子黒板を配置予定。

再質問： タブレットの活用 新機種の導入計画は

提言： 情報や機器の利用は正しい知識と利用法と新しい機種で学習できる環境作りのため最低数だけ導入してはどうか

答弁： まずは、県の検証結果を受け、28年度に設置等の計画を策定したい。



郷ノ浦 中学校

山口 達暉 西川 幸正 貞方 陽菜 中山 莉子

質問： ①環境保全についてポイ捨て宣言の効果は
②ごみの減量とリサイクルの取り組みは
③野犬対策の考え方
④耕作放棄地の解消整備について

提言： 市民が取り組む、郷中は遠足、登校時にボランティア活動をしています野犬にしない呼びかけ

耕作放棄地を市が買い上げ、小中学校に貸与し、植物を育ててもらう。校舎や体育館の屋根に太陽光パネルを設置し、学校内で利用する。

答弁： ①ポイ捨てしない意識は高まったものと確信している。

②H25から、生ごみを液体肥料にする取り組みを始めている。資源循環型社会を目指して取り組んでいく。

③現在、畜犬登録、予防注射の推進、犬の飼い方、マナーについて、市報、ケーブルテレビで啓発をしている。今後は啓発方法等を再検討し、対応していきたい。

④耕作放棄地は、増加傾向にある。耕作放棄地解消を図るための対策として、H26から農地中間管理事業がスタートしている。耕作放棄地を市で買い上げることは難しい。まず、所有者の方から農地を借りて、小中学生が利用できる学童農園、またU・Iターン者が農地として活用する等、景観や環境を守っていきたい。



勝本 中学校

川崎 姫依 中村 咲希 中原 優

質問： ①観光振興について
②空き店舗活用と誘致
③ボランティア活動されている方は
④吉岐のPRはどの様にしていますか

提言： 湯本温泉を核とした娯楽施設、図書館を作り雇用の確保を

耕作放棄地を利用した観光牧場。イベントに協力しパンフレットの作成にも協力したい

答弁： ①商工会や地域の方々の協力を得て、活用方法等について進めたい。開業したい方に、低金利で開業に必要な費用を貸し出している。

②今後新たな、誘致が決定している企業はない。商店街の活性化のためには、空き店舗の活用を、吉岐市商工会や地域の方々と一緒に取り組んでいきたい。サンドーム吉岐に

ついては、民間の活力を生かした活用策の検討を進めたい。町の図書館について、間もなく完成する勝本地区公民館に図書コーナーを設置。

③多くの団体・小中学校がボランティア活動をされている。今後も中学校の取り組みとして、また、個人での取り組みとして、皆さん方を必要としているボランティア活動に積極的に参加をしていただきたい。そして、吉岐を日本一きれいな癒しのしまとして全国にPRできるように取り組んでいきたい。



④大きな効果があるのはテレビだと思っています。今後も、吉岐市を数多く取り上げていただけるように、放送局などへ吉岐市を大いにPRしていきたい。両高校の卒業生に対し、観光連盟より吉岐のスキ・スキ応援隊として任命し、島外でのPRを行っていただいている。

動物との触れ合いについて、将来的には、観光牧場ということも参考にしたい。

イベントに関しては、島内を100キロ走る「ウルトラマラソン」を計画している。島民挙げてのおもてなしの心で、中学生のボランティアとしての御協力をいただきたい。

芦 辺 中学校

田中亜可梨

篠崎 光希

富場 脩聖

鵜瀬 和奏

質問： ①高齢者対策について事故を防ぐ啓発活動はどのように
②交通機関のサービスにはどのようなものが
③生活支援のサービスは

提言： 交通ボランティアに協力したい。ポスター貼りのボランティア。
タクシーに助成は
移動販売車の取り組みは市として出来ないか

答弁： ①高齢者安全・安心の集いの際に反射材を配布。若い皆様方が、反射材をつけて通学すれば、それが普通になり、高齢者の方も影響されると思う。そうした、交通安全運動への貢献をお願いをしたい。

②バス乗車カードを交付。全路線どこまで乗られても100円で利用。タクシーの割引については、福祉タクシー等の一部の割引はあるが、一般の高齢者に対する割引事業はない。

③介護予防教室として、はつらつ元気塾や、老人クラブに出向いての出前講座を実施。認知症サポーター養成講座については、中学生の皆さんにもぜひサポーターになっていただきたい。移動販売については、既に宅配サービスに取り組まれているところもあり、まずは、各店舗や商店の営業の工夫に期待をしたい。見守り活動については、自治公民館に福祉保健部の設置をお願いしている。皆様の御提言については、今後の高齢者福祉の推進に生かしていきたい。

吉岐市子ども宣言の決議

私たちが生活している社会は、環境問題や少子高齢化の問題、情報化の進展など大きく変化するとともに、多くの課題を抱えています。

私たちは、子ども議会の開催を機会に、中学生の立場で吉岐市の現状をもとにして、これからの吉岐市のことについて考えて見ました。

私たちの先輩が守り、育ててきた伝統と文化、海に囲まれた豊かな自然を守り、安全・安心で住みやすく、活気があり魅力あふれるまち吉岐にするために、ここに次のことを約束し、実行していくことを誓います。

1. 地域の一員として、明るく元気な挨拶を心がけ、周りの人とのつながりを深めます。

2. 吉岐の美しい自然を守り、住みよいまちづくりのために環境に配慮した取り組みを心がけます。

3. 次代を担う世代として、みずからの夢を持ち、吉岐の将来を見据えて自分たちにできることから取り組みます。

以上、宣言いたします。

平成27年8月26日

長崎県吉岐市子ども議会



市長： 現在、吉岐市では、吉岐市総合戦略、吉岐市人口減少対策ビジョンを策定いたしまして、全力で取り組んでおります。皆さん方からの質問や御提言は、まさにこの地方創生、吉岐創生にかなうものでありまして、必ずやこの吉岐市の総合戦略につながっていくものと確信をするところであります。

謝辞(石田中学校、板川真大議員)： ふだん議会というものをよく見たことがない私たちが、議会について学ぶことができ、これからの吉岐について考えるいい機会となりました。中学生の私たちにできることは何なのか、また、離島という特殊性を生かした方法にはどのようなことがあるのかを考え、吉岐市の発展そして活性化へ少しでも役に立つように、これからの中学校生活を送っていこうと思います。本当にありがとうございました。



7～9月会議で決めたこと

● 壱岐市副市長の選任について

9月1日付けで、壱岐市副市長として 笹原直記氏が選任され、同意した。

● 壱岐市監査委員の選任について

8月11日付けで、監査委員として 市山 繁議員が選任され、同意した。

● 壱岐市個人情報保護条例の一部改正について

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、（マイナンバー制度）壱岐市個人情報保護条例について番号法の規定を踏まえ、壱岐市が保有する特定個人情報の適正な取り扱いを確保するため一部改正した。

● 壱岐市手数料条例の一部改正について

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い所要の改正を行う。

● 人権擁護委員候補者の推薦について

任期満了に伴い久田 清文氏と、松永 敏之氏の再任

平成27年度 補正予算

一般会計の7月～9月補正額計	84,350万円
特別会計の7月～9月補正額計	8,254万円
一般会計＋特別会計補正後の予算総額	336億8,006万円

● 平成27年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会 計 名	現計予算額	7月補正額	8月補正額	9月補正額	補正後予算額合計
一 般 会 計	21,447,506		66,403	777,097	22,291,006
特 別 会 計	国民健康保険	5,594,532		55,724	5,650,256
	後期高齢者医療	305,629			305,629
	介護保険	3,332,869		2,178	3,335,047
	簡易水道	953,563		4,363	957,926
	下水道	451,500		1,800	453,300
	特養老人ホーム	406,326			406,326
	三島航路	133,911		173	134,084
	農業機械銀行	128,192		18,303	146,495
	合 計	11,306,522		82,541	11,389,063
一般会計・特別会計の合計	32,754,028		66,403	859,638	33,680,069

● 平成27年度企業会計予算一覧

(単位：千円)

会 計 名	内 訳	現計予算額	7月補正額	8月補正額	9月補正額	補正後予算額合計
企 業 会 計	水道事業	収益的収入	187,391			187,391
		収益的支出	162,107			162,107
		資本的収入	3,294			3,294
		資本的支出	29,391			29,391



どえ～な予算のあと



●タブレット端末導入

3,437千円

現在、議案等については紙ベースで作成しており、印刷・製本業務に相当な経費を要しているため、タブレット端末と ICT を導入し、事務の効率化及びコスト削減を図る。

タブレット端末 セルラーモデル42台

●壱岐なみらい創りプロジェクト事業

1,940千円

観光客誘客、人口増加につながる新しい産業をテーマに地域住民が中心となり自分たちの夢を実現していくことで、壱岐の輝かしい未来を創造する。

富士ゼロックスによる、産学官連携の様々な実践を通じたコミュニケーションサービスモデル提供を通して、個性豊かで継続的成長を生み出す地域コミュニティ創りに貢献し他に類を見ない離島振興ベンチマークモデルを共創する。

委託費：1,700千円 旅費：240千円

●特別養護老人ホーム民営化事業

37,269千円

特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターは民間移譲することで、民間の持つ柔軟性や効率性を活かして介護サービスの充実を図る。

◎勝本教職員住宅解体工事（設計管理、工事）

木造平屋建（73.9㎡）×3棟

◎勝本教職員住宅跡地等整地工事（工事）

整地碎石舗装 1,800㎡ フェンス設置 40m

◎石田教職員住宅改修工事（設計管理、工事）

RC造2階建1棟 60㎡×4戸

内装、外壁及び屋上防水改修（外構整備及び周辺伐採を含む。）

◎特養ホーム建設用地造成工事（設計）

擁壁・排水等設計

◎特養ホーム建設用地内施設解体工事（設計）

休憩棟 木造平屋建：161.4㎡

トイレ 木造平屋建：53.83㎡・木造平屋建：10㎡



特養ホーム建設用地
(勝本町ゲートボール場)

●漁業用燃油高騰緊急対策事業

80,000千円

燃油価格の高騰に伴い、採算性が悪化している沿岸漁業者の窮状に鑑み、漁家経営の安定と水産物の安定供給を維持・確保する。

漁業経営セーフティネット構築事業加入者に対して、漁業用燃油に対し1ℓ当たり10円を補助する。

期間は、平成27年4月1日から平成28年3月31日まで。

使用見込量 8,000kℓ×10円=80,000千円

●各種スポーツ全国大会等出場費補助金

1,050千円

市内スポーツ団体が市外の大会へ出場する際の旅行費等の費用の一部を補助することにより、スポーツ活動の振興・推進及び競技力の向上を図る。

各種スポーツ全国大会等出場費補助金（一般・青年の九州大会以上を対象）

◎全国大会 アップル（石田ママさんバレー）、勝本北星（軟式野球）

◎九州大会 勝本北星（軟式野球）、壱岐市ゲートボール協会

◎国体公開競技 壱岐玄海酒造 TC（綱引き）



委員会レポート



決算特別委員会

[委員会意見]

市税及び使用料等の各種未収金については、担当課のみの業務だけでなく、全職域の重点課題として、平成27年度から早急に具体的徴収対策を樹立させて、債権回収に努められたい。

●平成26年度決算額

(単位：円)

会 計 名		歳入総額(A)	歳出総額(B)	歳入歳出 差引額(A-B)C	翌年に繰越 すべき額D	実質収支額
一 般 会 計		22,511,045,503	21,949,745,321	561,300,182	68,016,170	493,284,012
特 別 会 計	国民健康保険事業	5,111,058,650	4,912,978,983	198,079,667	0	198,079,667
	後期高齢者医療事業	308,480,113	306,386,063	2,094,050	0	2,094,050
	介護保険事業	3,218,547,007	3,150,998,292	67,548,715	0	67,548,715
	簡易水道事業	759,257,456	755,978,772	3,278,684	0	3,278,684
	下水道事業	442,774,962	442,624,346	150,616	0	150,616
	特別養護老人ホーム事業	456,627,694	412,570,330	44,057,364	0	44,057,364
	三島航路事業	123,996,800	123,996,800	0	0	0
	農業機械銀行	138,875,247	119,420,978	19,454,269	0	19,454,269
合 計		10,559,617,929	10,224,954,564	334,663,365	0	334,663,365
一般会計・特別会計の合計		33,070,663,432	32,174,699,885	895,963,547	68,016,170	827,947,377

●未収金一覧

(単位：千円)

未 収 金 内 訳	26 年 度	25 年 度	増 減 額
市税	278,098	279,012	△914
分担金・負担金	5,419	5,728	△309
使用料・手数料	28,701	28,032	669
財産収入	3,459	413	3,046
諸収入	23,998	23,973	25
国民健康保険税	306,703	327,889	△21,186
後期高齢者医療保険料	2,528	2,844	△316
介護保険料	39,142	33,208	5,934
簡易水道使用料	36,620	33,947	2,673
下水道使用料・負担金	886	2,208	△1,322
特別養護老人ホーム負担金	1,048	76	972
農業機械銀行使用料	128	378	△250
合 計	726,730	737,708	△10,978



委員会レポート

予算特別委員会

平成27年度吉崎市一般会計補正予算(第5号)
吉崎なみらい創りプロジェクト事業、社会保

障・税番号制度システム整備事業、放課後児童
クラブ等育成支援事業、漁業用燃油高騰緊急対
策事業、公営住宅改修費、学校管理費(芦辺小
学校)等7億7,709万7千円を審査し可決した。



総務文教厚生常任委員会

本委員会に付託された議案5件、認定6件、
陳情1件を審査した。各議案についてすべて可
決、認定についても全て認定した。陳情1件に
ついては委員会意見を付して不採択すべきもの
とした。

【委員会意見】

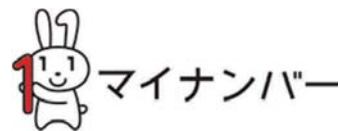
議案62・64号に関連のマイナンバー制度につ
いては、新たに国全体で始まる制度であり、市
民に対するきめ細やかな説明を行い周知徹底を
図ること。

陳情については、平成27年度税制改正で日本

国外に居住する親族に係る扶養控除等の書類の
添付等が義務付けられ、厳格な審査ができるこ
とから不採択とする。

マイナンバー 社会保障・税番号制度

国民生活を支える社会的基盤として、
社会保障・税番号制度を導入します。



産業建設常任委員会

当委員会に付託された議案5件、認定4件、
要望1件を審査し、全議案、全認定をそれぞれ
可決、認定し、要望1件を採択した。

【委員会意見】

認定第5号、使用料の未収金については、昨
年に比べて増加しているので、認定6号の分担
金及び使用料も含め滞納者には計画的な納付を
促し、未収金の回収に努めること。

また、新規滞納者が増加しないよう催告状等
を利用した納付督促にあたること。



委員会レポート

I CT 推進特別委員会

- タブレット端末 ICT 推進セミナー受講
- ◎日時 平成27年7月29日(水) 13:00～
- ◎場所 NTT ドコモ九州支社セミナールーム (福岡市)
- ICT 推進特別委員会行政調査
- ◎日時 平成27年7月30日(木) 10:00～
- ◎場所 福岡県嘉麻市議会 (委員会室)

福岡市で開催されたセミナーを受講し基本的な操作方法を学び、先進地視察として嘉麻市議会を訪問し、実際の運用方法等の実務研修を受けた。

嘉麻市では、議員活動や議会事務局での利用は当然であるが、市職員幹部会や市長・副市長のスケジュール管理及び共有、事務連絡のメール及び有事の際や異常気象による緊急メール、ハザードマップや避難箇所など防災情報の収集などにも役立てられていた。

行政の効率化、財政の健全化の観点から地方行政運営の要である行政改革の一環として、タブレット端末及び文書共有システムの導入により、スムーズな議会運営と文書管理に加えペーパーレス化も図られていた。

最も効果が発揮できたのは議会運営の効率化



嘉麻市議会

と、行政部局の事務にかかる労力及びコスト削減が図られた点といえ、現在も、タブレット端末の利活用が議会・行政部局共に図られ、様々な効果の検証と合わせて、今後も活用範囲の拡大を目標に掲げて運用されていた。

◆今後のスケジュール

9月会議でタブレット端末導入関係予算が可決された。11月からアップル社製『iPad Air 2』42台、文書共有システム『SideBooks』を導入。

基本操作説明会・セミナーを数回に分けて実施し、12月会議からタブレット端末を使った議案書閲覧等の試験導入をおこなう。最終目標として、来年6月会議で紙ベースの議案書を廃止し、市議会「ペーパーレス化90%以上」の実現に向けた完全導入を目指す。



NTTセミナー



導入するタブレット端末

議案と審議結果一覧表（7～9月会議）

開催月	番 号	議 案 内 容	付託委員会	本会議採決結果
8月	報告第10号	損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告について	—	8/11 報告済
	議案第58号	平成27年度壱岐市一般会計補正予算（第4号）	省略	8/11 可決
	議案第59号	高規格救急車購入契約の締結について	省略	8/11 可決
	議案第60号	高規格救急車購入契約の締結に係る追認について	省略	8/11 可決
	同意第2号	壱岐市副市長に選任について	省略	8/11 同意
	同意第3号	壱岐市監査委員の選任について	省略	8/11 同意
9月	報告第11号	損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告について	—	9/9 報告済
	報告第12号	損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告について	—	9/9 報告済
	報告第13号	平成26年度公益財団法人壱岐栽培漁業振興公社に係る経営状況の報告について	—	9/9 報告済
	報告第14号	平成26年度壱岐空港ターミナルビル株式会社に係る経営状況の報告について	—	9/9 報告済
	報告第15号	平成26年度株式会社壱岐カントリー倶楽部に係る経営状況の報告について	—	9/9 報告済
	報告第16号	平成26年度一般財団法人壱岐市開発公社に係る経営状況の報告について	—	9/9 報告済
	報告第17号	平成26年度壱岐市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—	9/9 報告済
	議案第61号	平成26年度壱岐市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	産業建設	9/25 可決
	議案第62号	壱岐市個人情報保護条例の一部改正について	総務文教厚生	9/25 可決
	議案第63号	壱岐市附属機関設置条例の一部改正について	産業建設	9/25 可決
	議案第64号	壱岐市手数料条例の一部改正について	総務文教厚生	9/25 可決
	議案第65号	平成27年度壱岐市一般会計補正予算（第5号）	予算特別委員会	9/25 可決
	議案第66号	平成27年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	9/25 可決
	議案第67号	平成27年度壱岐市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	9/25 可決
	議案第68号	平成27年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	産業建設	9/25 可決
	議案第69号	平成27年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	産業建設	9/25 可決
	議案第70号	平成27年度壱岐市三島航路事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	9/25 可決
	議案第71号	平成27年度壱岐市農業機械銀行特別会計補正予算（第1号）	産業建設	9/25 可決
	認定第1号	平成26年度壱岐市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別委員会	9/25 認定
	認定第2号	平成26年度壱岐市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/25 認定
	認定第3号	平成26年度壱岐市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/25 認定
	認定第4号	平成26年度壱岐市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/25 認定
	認定第5号	平成26年度壱岐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9/25 認定
	認定第6号	平成26年度壱岐市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9/25 認定
	認定第7号	平成26年度壱岐市特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/25 認定
	認定第8号	平成26年度壱岐市三島航路事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	9/25 認定
	認定第9号	平成26年度壱岐市農業機械銀行特別会計歳入歳出決算認定について	産業建設	9/25 認定
	認定第10号	平成26年度壱岐市病院事業会計決算認定について	総務文教厚生	9/25 認定
	認定第11号	平成26年度壱岐市水道事業会計決算認定について	産業建設	9/25 認定
	諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	省 略	9/25 了承
	諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	省 略	9/25 了承
	陳情第2号	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	総務文教厚生	9/25 不採択
	要望第4号	長崎県リプレイス事業支援の早期適用により、福岡・壱岐・対馬航路における、生活物資・医療器材等の安定輸送と運賃低減化にご支援・ご協力を求める要望	産業建設	9/25 採択
	発議第4号	長崎県リプレイス事業支援の早期適用により、福岡・壱岐・対馬航路における、生活物資・医療器材等の安定輸送と運賃低減化に関する決議について	省 略	9/25 可決

市山 繁議員



Q 次期市長選について

市長の任期は来年4月が任期満了である。市民に向けての出馬表明は9月会議が適期と思うが。

A 今しばらく猶予を

市長

後援会皆様のご意見をお聞きしたい。

Q ふるさと納税について

今年のふるさと納税は増加傾向にある。主旨を理解し、さらなる職員・市民のPRの協力を推進されたい。

A 市民にも協力を

市長

ふるさと納税は貴重な財源で地域の取り組みに活用できる。さらに市の取り組みを全国にアピールする。

Q 吉岐市創生会議の進捗状況について

①創生会議は島民の英知を結集した構想が必要。各業種の若者の意見も
②地方版総合戦略を10月末までに策定した自治体には新交付金が上乗せされる。早期の作成を。

A 意見を集約している

市長

①人口減少対策会議には若者も女性もメンバーで、雇用・少子化対策を議論している。
②10月末までに総合戦略を策定する。

Q 結婚応援隊と子育て支援策について

①結婚応援隊の奨励金と併せて結婚祝金の復活をさりたい。
②中学生までの医療費・給食費の無料化を実施しては。

A 前向きに検討する

市長

①現在登録者は2名、活動は熱心に行っている。祝金は検討したい。
②子育て支援策での幼稚園授業料、第2子以降の保育料、中学生までの医療費と給食費の無料化を検討し全力で取り組む。

今西 菊乃 議員

Q 奨学金貸与制度について

制度化されて10年。社会状況の变革もあり見直しの時期である。
①生徒が減少しているので貸与額を増額し貸与人数を減らすべき。
②併給制度を取り入れれば原資の対策が生じてくる、対策は。
③償還金の滞納が発生している。償還方法を選択制にすべき。
④高校生は貸与型だけでなく給付型も取り入れるべきでは。

A 見直しの必要認識

市長

①貸与額は返還を考慮して現状で推移するが、人数を減らして増額は検討したい。
②現状であれば資金の用途はたつ。
③滞納の返還は特例を取り入れ対応している。運用は可能。
④高校生の志願者は減少。検討に値する。

Q 公共施設整備について

石田町社会福祉協議会は立体型の建物で福祉施設に適せず、対応年数を過ぎていく。

農村環境改善センターは施設も機材も老朽化している。旧給食セン



ターを活用し、2つの施設を統合した福祉センター建設を。
建設が無理なら、庁舎を改善センターへ、石田庁舎に社協を移転し、集会場を新設し管理を社協に委託しては。

A 新設は考えていない

市長

施設の耐震補強工事・改修は行っている指定管理期間は継続。事務所移転は難しいが遊休施設の活用も考慮、十分協議し方針を出す。



農村環境改善センター

赤木 貴尚 議員



Q 商店街の空き店舗の現状について

全国の空き店舗数は平均6・0店、空き店舗率は14・62%、平成15年度以降に空き店舗は増加傾向にあるが、岐阜市の現状はどうか。

①店主の廃業状況や廃業理由は、どのように分析しているか。

②岐阜市独自で商店街の景況調査をしているか。

③既存店への改装費補助、空き店舗へ新規出店者への家賃補助を考えては。

A 増加傾向にある

市長

岐阜市の対象は、7つの商店街で409店舗ある中の60店舗が空き店舗（平成27年6月1日現在）平成24年度調査から3年間で6店舗が増加している。岐阜市の空き店舗率は14・67%

①経営不振が主な理由。事業主死亡7件、病気1件、高齢化及び後継者不足13件、経営不振4件、会社解散2件。背景には経営不振が根底にあ



ると考えられる。

②全国商工会連合会（中小企業景況調査）を活用。岐阜市独自の調査の場合、専門的知識の人材が必要となる為、既存の景況調査として全国商工会連合会の中小企業景況調査を活用し、景況動向の把握をする。

③自主的・積極的な活動の中で要望があれば考える。

町田 正一 議員

Q 給食費の全面無料化を

岐阜市は、合計特殊出生率2・14と全国でもトップクラスになり「子育て日本一の島」を目指している。

①無料化をした場合の財政負担

②「子育て特区」等で、国の補助メニューの活用はできないか。

③財源として、補助金の削減、ふるさと納税をあてては。



A 実現の方向で検討

①給食費は一人当たり約4万円、年間1億2千万円程度。

②一部あるいは全部を自治体が負担しているケースが全国で50程度ある。特区にせずとも実現できる。

③実現の方向で検討する。

Q 岐阜市の文化政策

健康寿命を如何に長く確保するかが最も重要である。この面から介護予防の視点、学校教育の視点からスポーツが優先され文化面での施策が



遅れている。

①市民力事業の更なる拡充と趣味や文化サークルへの適用も考えては。

②市長や教育長の冠を記した賞の基準は。

③岐阜の文化面ではすばらしい先人が多い。教育への副読本の利用状況。

④大学の文化サークルの合宿のアプローチの状況。

A 重要性は認識している。

①文化サークル等で活動している場合も対象とする。

②申し出があれば、すべて答えている。現在は、県美術展、市美術展、ゲートボール大会、少年の野球大会に市長賞を出している。

③副読本はCD化して、生徒がいつでも活用できる。

④岐阜商の生徒たちがプラン化して高く評価された誘客計画を活用していく方向で検討している。

音嶋 正吾 議員



Q 「ものまねでは効果なし」

地方創生プランは地域住民が汗をかいてこそ本物になる。何如に旧態依然の策定方向を採用するのか？

①業務は長崎地域政策研究所に737万円で委託している。島民の英知を結集しようとするのか!!
②本市の有効求人倍率は昨年度から県下最低である。以前にも指摘したがその後の改善策は。

A 新戦略模索中

市長

地方創生に活路を見出したい。

①委託業務は丸投げはしてない。調査、研究関係を委託している。
②公共事業の整備も地方に比べると進んでいる。可能な限り公共事業の取り組みを推進する。アイデアを出していただきたい。



郷ノ浦大橋修復工事

呼子 好 議員

Q 小中学生の学力向上

全国小中学校学力テストでは長崎は全国32位と低い。島に留学生が来る「子供の学園のしま」に教育改革を提案

①土曜授業の復活を。全国でも16.3%で昨年の2倍に増加。
②小中一貫校の導入は、来年から法制化される。市の判断で設置できる。
③芦辺小の改築に地元の理解は。将来統廃合は避けられない、敷地・校舎の規模は。
④旧中学校の活用は貸与・売却の検討を。

A 説明責任を果たす

教育長

全国平均で1.2ポイント下がっている。学校の状況を保護者、子供達に説明している。
①1.2時間の授業を設定し授業時間の確保を行っている。
土曜日授業の復活を取り入れる考えはない。
②小中学校連携教育を日頃より行っている。必要ない。
③地域、保護者、学校の意見として近隣の学校、地域も異論はなかった。設計上、構造上考慮して建設する。



Q 人口減少、定住、移住促進

地方創生は農水産、観光、文化、スポーツの活力を引き出す。
湯本温泉の活用はできないか。雇用を生むH28年度予算策定を。

A 具体的施策を検討

市長

地方創生の4本柱、安定雇用・人の流れ・子育て・安心の暮らし。市岐市総合戦略を機に優先順位を位置づけ予算確保に努める。
湯本温泉の掘削は、総合戦略のなかで盛り込んでいない。

Q ふるさと納税

今年8月までの応援寄付金の実績は。宣伝が不足。周知の方法は。
ふるさと産品の活用コースの利用は。カタログの更新は。

A 目標額1億円

市長

1988件、3247万円の実績。カタログの改訂。雑誌掲載、ポイント、クレジットの見直し。市民・職員も一体となってPRを。海産物、農産物が人気。



地域によっ
て草刈りなど整備に
バラつきがあり、シル
バーなど（もちろん地域が一番で
す。）を生かして美しい島へとみ
んなで協力できるシステ
ムがほしいです。

60歳

Q2にめざす5つ
の「0」として「不登校」が
あげられています。私のまわり
にもそういう子どもたちがいます。学校
は何とかしようといういろいろ手だてを考え
頑張っています。原因は様々ですが、や
はり子どもたちの「生きる力」不足ではな
いのでしょうか？ゆとり世代が親となっ
ている今、この問題は大きくな
るばかりのようで心配です。

50歳

吉岐市に住んでいない人
の土地が荒れて困っています。
何か良い方法は。

78歳

読ませていた
だき、知らないことな
どなるほどでいっぱいです。
うなずいてみたり本当に大変だなと
思います。これからも楽しみにして
います。吉岐にいて吉岐の知らない
事、いろいろあるのですね。これか
らも色んなことを教えてください。
ありがとうございました。

皆様頑張ってください。

71歳

原の辻ガイダンスの近
辺に対してお願いします。入
口（芦辺・印通寺側）から
の表示を詳しく！観光客の
方が迷われています。

自分は市外で働いて
いますが吉岐で仕事をし
たいけど、やりたい仕事も少
ないし島から通えないので家
を借りるにも家賃が高い。

26歳

本誌は吉岐の「今」がわかりやすくそし
て読みやすく掲載されていて、いつも拝見
させていただいてます。先日夏休みで孫が遊びに来て
畑の野菜の収穫や海水浴など満喫して帰って行きました。
夏休みは市外から来る子ども達も多いと思うので、
吉岐の子ども達との交流や吉岐の良さを感じられるイ
ベントがあれば、きっと将来その子達が伝えてく
れるのではと思いました。

60歳

郷ノ浦商店
街の空き店舗の多さ
を見るにつけ、暗い気持
ちになります。吉岐へ来た観光客
の皆さんは一体どう思われるで
しょう。少しずつでも確実な改善
を切望します。

52歳 女性

市民の声

「議会だより第46号」クイズ
応募者よりいただいたご意見ご感想です。
(応募者数28人中 正解者26人)

議会だよりクイズ?

この議会だよりの中に
答えがありますので、
最初から最後まで良く
読んでみてください。Q1 杵岐な〇〇〇〇創り
プロジェクト事業Q2 マイ〇〇〇〇〇制度が
発足Q3 〇〇創生プランの
充実を

第26回クイズの答え

①8月26日 ②体罰 ③20万円

第26回クイズの当選者

小西恵津子様 澤 セイ子様
日高 綾祐様 山内 好江様
横山 明美様
おめでとうございます!《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、
ハガキでご応募ください。議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望などお
書き添えください。ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介
させていただきます。正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお
贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521

杵岐市勝本町西戸触182-5 杵岐市議会事務局 宛

《しめきり》 平成27年11月30日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

10月になり、杵岐の島も夏の
装いから、秋の色に変化し、景
色や食べ物がつっかり秋モード
ですね。秋といえば、食欲?読
書?スポーツ?旅行?みなさん
の秋は何秋ですか?杵岐市議会も8月から変化が
あり、議長をはじめ各委員会が
変わりました。広報特別委員会
も10月号編集から新体制になり、
心機一転の6名で頑張っていき
ますので今後ともよろしくお願
いします。秋の夜長を、杵岐市議会だよ
りを読みながら、
ゆっくりお過
ごしくださ
い。

赤木 貴尚

議会広報特別委員会
委員長 赤木 貴尚
副委員長 呼子 好
委員 土谷 勇二
市山 和幸
田原 輝男
久間 進

お知らせ

杵岐市ホームページ

<http://www.city.iki.nagasaki.jp>の市議会
のインデックス(見出し)を検索すると、市長行
政報告および議員の一般質問の音声を生で聞く
ことができます。また市議会会議録は、議会事
務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活
班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞
い等の金品を送ることや、暑
中見舞い・年賀状などの挨拶
状や有料の広告は禁止されて
おります。市民みなさまのご
理解とご協力をお願い申し上
げます。杵岐市議会議員一同

編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県杵岐市勝本町西戸触182-5

TEL:0920-42-1111

FAX:0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 <http://www.city.iki.nagasaki.jp>

杵岐市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。